

# 電 気 鋺

## 取 扱 説 明 書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。  
 末永くご愛用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みいただき正しい  
 ご使用をお願いします。

■表示内容を無視したときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

- |   |   |
|---|---|
|  | <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |
|  | <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は、図記号の一例です。)

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
|  | このような図記号は、してはいけない「禁止」内容です。    |
|  | このような図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

## 安全上の注意事項

### 警 告

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|  | ■電源電圧は、交流100Vです。タコ足配線はしないでください。<br>火災の原因になります。                    |  | ■電源コードを傷めないよう電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。                              |
|  | ■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、緩んだ痛みのあるコンセントは使用しないでください。<br>火災の原因になります。 |  | ■コードを持って運ぶ・コードを引っ張ってコンセントを抜くなどの行為をしないでください。<br>感電・断線など故障の原因になります。                                     |
|  | ■濡れた手での抜き差しはしないでください。<br>感電の原因になります。                              |  | ■可燃性が強い商品がそばにあるときは、ご使用を避けてください。   |
|  | ■作業中その場を離れる場合は、電源スイッチをOFFにしてコンセントを必ず抜いてください。<br>火災の原因になります。       |  | ■6ヶ月に1回程度の定期的な保守・点検を行ってください。また、3～5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。<br>点検を行わずに長時間使用しますと、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。 |
|  | ■防水仕様ではありません。雨天でのご使用はおやめください。また、直接水をかけないでください。                    |  | ■長期間使用しないとき、電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。  |

# ⚠ 注 意



■ボルトの緩み、本体に破損及び変形が無い  
か確認して下さい。



■異常時の使用禁止 臭い等異常を感じた時は  
ただちに使用を中止して、コンセントから  
電源プラグを抜いて必ずお買い上げ販売店  
に点検・修理(有料)をご依頼下さい。



■安全帽、保護メガネ、防護手袋等の保護具  
を着用、他の作業員の安全を確認して作業  
して下さい。



■長期間使用しないとき、使用後は直接日光  
を避け、埃等の付着を取り除き湿気の少な  
い場所にてお子様の手の届かないところで  
保管して下さい。



■改造されますと、使用中に危険を生じるこ  
ともありますので、改造してのご使用は絶対  
に避けてください。



■使用中や使用直後は、高温になりますので  
コテ部分に直接触れないでください。  
火傷の原因となります。

## ■仕様

定 格	交流100V (50/60Hz)、150W
こ て 温 度	最高190℃ (ヒーター部最高温度235℃)
使用ヒューズ	ガラス管ヒューズ、125V 5A、全長20mm
使用周囲温度	0℃～40℃ (直射日光のあたる場所で 連続5時間以上使用しないでください。)

## ■保守・点検

⚠ 注意: お手入れの際はスイッチ入り、差込プラグを抜いた状態で行ってください。

作業項目	周 期	作業内容
準 備		スイッチ切り、差込プラグを抜く
絶縁抵抗の測定	Ⓛ 年1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500V絶縁抵抗計にて測定する。</li> <li>・1MΩ以上であることを確認する。万一、それ以下の場合、原因調査の上対策する。</li> </ul>
配線、コード類、 締め付けの点検	使用ごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配線接続部の緩みがあれば締め付ける。</li> <li>・コード類の劣化したものは取替える。</li> <li>・中間スイッチの動作確認を行い、異常がある場合には交換する。</li> <li>・付着物がある場合、除去する。</li> </ul>
ヒーター周りの 点 検		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流値を測定し、正常であることを確認する。異常がある場合は原因調査の上対策する。</li> <li>・ヒーター表面に付着物がある場合、除去する。</li> </ul>